

3：よくできている、2：おおよそできている、1：あまりできていない、0：まったくできていない  
評価できない・・・空欄

		児童 評価	保護者 評価	教職員 評価	教職員評価の理由	
主体的・対話的で深い 学び	支持的風土を育てる学級・学年集団づくりの実践	2.5	2.1	2.3	・校内研究や研修会において、主体的・対話的で深い学びに関する視点で授業を参観したり研修会で学んだりしている。 ・校内研では各学年で工夫して授業を構成し、話し合い活動を取り入れて、お互いに学び合う姿がある授業が多く見られた。	
	協働する体験・伝え合う喜び・コミュニケーション能力の育成を図る授業の工夫改善（ICTの活用含む）	2.6	2.1	2.2	・「主体的・対話的で深い学び」に対する意識はあるが、児童の対応などでじっくりと時間を取れない場面が増えているように感じる。普段からその視点を全員がもって授業を行なっているとはいえない。	
	主体的・対話的で深い学びを追究する授業研究や研修会の実施			2.2		
道徳教育の充実	生命を尊重する心やいじめを許さない態度などの道徳実践力を育てる活動の実施	2.7	2.1	2.3	・常々の週1時間の道徳の時間を大切に、日常を振り返りながら丁寧に行っている。 ・学年で教材研究をし、授業に臨み、その成果があらわれている。	
	ものごとを様々な視点からとらえ考えさせる道徳科の授業・評価に関する研究			1.8	・道徳は教科化されたものの、授業・評価について交流等が十分に図れていない場合もある。 ・道徳参観日を設け、全学年が学習参観で年に1度は、道徳の学習を公開するようにしている。	
	保護者等への道徳科の授業公開		2.0	2.4	・自作の掲示物やワークシートを整理したり、児童の実態に即した新たな教材の研究等ができる時間があるとよりよいと思う。	
体力づくり	たくましい心と体を育てる魅力ある授業の工夫改善	2.5	2.0	2.0	・運動会や学年での縄跳び大会などを実施して、それぞれの目標をもって取り組む子どもが多い。 ・マイペースランニング月間や縄とびへの取組等、全校的に行っている。また、体育委員会の取組では体を動かす機会が確保がされている。	
	体力づくりを推進する運動実践			2.2	・授業の導入時には学習内容に応じた準備運動をしっかりと行う等、体育の授業では、運動量の確保を意識して取り組んでいる。 ・普段の生活では運動する子としない子で二極化しており、遊びの中に運動の基礎となる動きなどを取り入れる等して、楽しみながら運動する機会を増やしていく必要がある。	
	生涯にわたって健康を保持増進し、進んで体を動かそうとする意欲の育成	2.4	2.1	2.3		
指導改善（組織的・計画的）	学力向上を目指した指導体制・指導方法の工夫改善（体験活動、読書活動を含む）	2.5	2.1	2.2	・授業研究会で外部講師からの指導を仰ぎ、児童の学力向上のため授業改善に活かしている。 ・全国学力学習状況調査の結果を分析し、学力向上を目指した指導を目指している。 ・高学年では授業交換や入り授業を行い、負担を軽減し働き方改革につなげている。 ・学習資料の共有化を図るよう心掛けた働き方改革につなげたいと考えている。 ・勤務時間内に教材研究や授業研究が行えるように心がけているものの、時間があまりとれず、働き方改革が進んでいない。 ・日々の業務に追われており、子どもとしっかり向き合うためには超過勤務は無くならない。	
	教職員の指導力、情報活用能力、及び組織的な教育力の向上			2.1		
	働き方改革の取組と教育活動の質の改善			1.9		
育ちと学びを支える 連携	① 家庭・地域との連携・協働	子育てや家庭教育に対する保護者への積極的な支援		2.1	・「地域つながり委員会」は本校独自の特色ある取組だと言える。 ・農園ボランティアの地域の方々にはスクール農園の管理をしていただけており、非常にありがたいばかりか、植え付けや収穫などの指導や補助にも来ていただいている。 ・校外学習や運動会、環境整備作業、保健室、図書室等、地域や保護者のボランティアをお願いすると早く参加いただけ、教職員だけでは難しいことも助けていただいている。 ・日々保護者との連絡を密に取り合ったり、学級通信等で情報発信したりするよう心がけている。	
		保護者・地域との交流や情報発信、参観、懇談会、研修会の実施、地域人材の活用	2.6	2.3	2.5	
		防災教育・感染症対策等の推進を含む、地域の実態に応じた安心・安全な学校づくり	2.6	2.1	2.1	
② 保幼小中の連携	子どもの校種間交流や教員の出前授業			2.1	・コロナ禍で制限されていた5・5交流も復活し、5生にとって、最高学年になる心構えをもつよい機会となっている。打合せ等で大変な面もあるが、今後も進めていくべきである。 ・仰木人権教育研究会での各部会においてそれぞれの取組を交流する機会があった。 ・保幼小中、小学校と中学校というように進学にあたって情報交換を密にしている。 ・子どもに関する連携は十分とされているが、教育課程編成に關しての連携や交流は難しく、できていない。	
	校種間の授業公開や合同研修会			2.0		
	保幼小中の接続期の教育課程の編成等校種間のカリキュラム研究			1.9		
組織的 体制の 充実	① 生徒指導体制の充実	いじめや暴力行為、不登校等生徒指導上の諸課題の早期発見、日常的な予防指導	2.6	2.0	2.5	・SCや作業療法士、子ども発達相談センターなど、関係機関との連携がきちんととれている。 ・様々な問題事案について、軽微に見えるものであってもしっかりと報告・連絡・相談するように周知したり、対応を組織で考えたりするようにしている。 ・毎週月曜日の打合せの時に、各学年の交流があり、ささいなことでも、学年、生徒指導、全職員と連携を図り全体で子どもを見守り指導に取り組む体制になっている。 ・職員全体がいじめを見逃さない姿勢でいる。
		生徒指導・教育相談体制の確立と組織的な推進			2.6	
		家庭・地域・関係機関との連携による指導			2.4	
② 特別支援教育の充実	個別的教育支援計画及び個別の指導計画の作成と活用			2.4	・特別支援学級と交流学級の各クラスとの連携を図るよう努めてきた。 ・個別の指導計画の作成にあたって、保護者の思いを受け止めしっかりと相談し、よりよい指導法を考えてきた。 ・組織的に、また必要に応じて関係機関と連携して取り組んでいる。特にやまびこ総合支援センターの先生からは助言をいただき、個別の支援を組織的に考えることができた。 ・個別の支援を要するすべての子への指導となると不十分な面もある。	
	組織的・計画的な特別支援教育体制の確立			2.2		
	関係機関と連携した相談体制の充実			2.6		
学校満足度	児童生徒の学校満足度	2.6	2.2	2.2	・学習への取組、遊びの参加などを見ていると、満足しているように思う。日々、課題に応じた適切な指導を行っていききたい。 ・アンケートを学期に1度必ず行うなど、子どもたちの様子を教職員や支援員など、みんなで見守っていることもあり、安心して登校できている子が多いのではないかと。 ・ほとんどの児童が元気に登校し過ごせているが、不登校児童、不登校傾向児童、保健室へ頻りに行く児童もいる。そのような児童にも寄り添っていけるよう心がけている。	

学校関係者評価	
学校関係者 評価	評価の理由
2.6	・学級活動の生き生きとした姿より大根の販売をつなぐ委員会の子も達としました。 2年目という事もありますが態度や言葉は、主体的に言葉を発していたように思います。 ・生徒会の議長さんが庭のことを説明してくれましたが、端的にはっきりと話が出来ました。もじもじしたところがないのは主体的に話をしているからだと感じます。 ・45分の授業時間内で、学習内容にもよるが、児童が小グループに分かれて自分の考えを積極的に発言できる時間の確保を充実させてほしい。
2.6	・子どもたちは学んでいるが、自分のものとするには積み重ねが必要。道徳は大切ですね。 ・今年是人権学習を目にすることができなかったです。多分学校ではされていたのだと思いますが、地域の私の目に触れなかったと思います。地域に見る化をして頂きたいです。 ・いじめ問題は難しいですが、意識して取り組む事が必要だと思います。地域の目を変える事も見える化が必要で。 ・道徳の授業を参観していないので適切な評価はできない。 ・学年間での道徳の教材について研究し、実践できる体制を整えるなどの努力をお願いしたい。
2.6	・なわとびやランニングなど、取組に対して頑張る姿より。運動会が土曜の半日でしたが、いろいろと工夫されて、実施されました。 ・ダンスかと思えば競技だったなどでしたが、児童にとっては、いい経験だったと思います。先生も音頭をとったりと、汗をかいたりして子どもと取り組んでいる様子を感じられました。 ・ソーラン節のダンスが、定番なのが良かったです。 ・児童は身体を動かすことは大好き。児童の評価は高い。そこで、体育の授業に臨む先生方の考え方や知恵について再考してください。
2.3	・働き方改革の取組については詳細がわからないため評価していません。授業内外に尽力されてるが、学習以外の多様な対応が増えていることから、相応の人員増があってもよい。 ・掲示物が、工夫をこらした感じのものがたくさんあったように思います。特に、人の動きを粘土で作成した作品がありましたが、それぞれの個性がありました。先生の指導が良かったのだと思いました。 ・外部の方より指導があったと聞きましたが、それも必要だと思います。 ・先生方の日々の忙しさを思うと、“よく頑張っていますね”としか言えない。管理職は先生方の身体的・精神的な疲労がうつ積しないよう、適切な助言をお願いします。
3.0	・地域の人材が活かされている。保護者との連絡を密にとられている。交通安全教室については、学校が積極的に実施していただき、子どもへの前向きな姿勢が感じられます。 ・下校時刻のバトロールでは、児童との接触が増え、児童からの声かけが増えています。以前よりもあいさつが多く見られます。 ・働き方改革も言われていますが、校長先生はじめ何人かの先生が休みにかかわらず参加されていました。有り難うございます。 ・校長先生の地域との関わりを大切に思っています。農園での、児童との関わりは楽しかったです。 ・児童に生命の大切さが伝わればと思います。「地域つながり委員会」は、地域の人の深いつながりにより、教室では学べない多くの経験を通して生きる力の育成につながっている。
2.7	・5・5交流や中学見学を体験している子どもの姿は明るい。 ・コロナ禍では出来なかった交流が増えてきて、子ども達の異年齢間の繋がりがより深くなっていけたらと願います。 ・地域の行事に校長先生の関わりと努力は見えていました。有り難うございます。 ・先生方も、地域繋がりの存在がよいです。 ・中学生や外部の方の指導を多く連携しておられます。 ・7月に開催された協力者会議の場で報告された5・5交流会の様子が心に残った。今後、保幼小中とのふれあいの時間が増えればよいと考える。
2.9	・児童クラブを含めた子どもの対応の連携。 ・道で会ったとき、挨拶を子どもからしてくれる事があり、学校の指導が子どもの行動になっていると感じます。 ・様々な生徒指導上の問題が発生したときに、その問題が本質を正確に捉え、適切に対応し、解決していく先生方一人ひとりの指導力の育成に努めてください。 ・下校時の見守り活動などで、あいさつ運動を続けてきたが、最近はずも子ども達から声をかけられることがあり、つながりを感じている。ぜひこれからも続けて、子ども達とのつながりを大切にしていきたい。
2.8	・子どもの成長に合わせた支援がなされている。 ・スクール菜園での、元気学級の児童との関わりがありました。どの児童もいい顔をしていました。 ・大根やジャガイモを土から掘り出したときの喜びは良かったです。 ・特別支援学級と交流学級との連携の大切さは言うまでもないが、連携の内容が大切。常に先生同志の考えを密にして活動してください。
3.0	・すべての項目において児童の評価が高いということは、児童の満足度が高いということになり、そのことが一番重要だと思います。 ・困った時には身近な大人に相談する様子も見られ、安心して過ごしている。 ・学校が静かを感じず。きっと優しい心が育っているのではと思います。公園での子どもたちも良好です。 ・校長先生の農園で取り組む姿が、農園ボランティアがいることの一因です。 ・児童評価を行わなくても子どもたちの学校生活の満足度は日々の姿でわかる。 ・全教職員の皆さんの正しい眼と行き届いた指導力に感謝している。